

## 歴代会長と主な出来事

	年代	足守	大井	岩田	日近	福谷
S25 岡山県愛育委員制度誕生	S25 ~ S29	石原 朝賀	松田 明子	長尾ミユキ	荒木 君代	荒木 寿子
S26 足守町、大井村、岩田村、日近村、福谷村に愛育委員会発足	S30 ~ S34			國定 石子	明楽 倫子 赤木 初枝	光森美野子 藤原 幸子 大角フサコ
S31 5か町村が合併し新制足守町誕生 (S33合併に伴い15愛育委員会統合)	S35 ~ S39	織田 とも	乗金貴志子 岩月和代	中津 久子		津嶋 静子
S35 環境衛生委員を兼任						
S36 国民皆保険制度開始	S40 ~ S44		三宅 千春	國定 町子		
S46 岡山市に合併	S45 ~ S49	林 スミエ				
S47 憩いの丘でのボランティア開始						
S53 足守地区愛育委員会が献血で厚生大臣感謝状受賞	S50 ~ S54					
	S55 ~ S59				中尾 和子 田中 綾子	
		的場 時子				
S63 かしお園との交流始まる	S60 ~ S63	赤木多喜子	田上 秀子 関 典子 本田 敏子	明楽 京	萱野 輝子	
H4 足守地区愛育委員会が献血で厚生大臣表彰受賞	H元 ~ H4					氏川多美子
H6 岡山市が保健所政令市に移行(5委員会に再分離)	H5 ~ H9			笹井富美恵		
H10 北ふれあいセンター開設	H10 ~ H14				小西 慶子	大月 安子
H12 介護保険制度開始						田口 伸子
H14 健康市民おかやま21策定(足守会議発足)	H15 ~			林 恒子	荒木 典子	西山きよ子

## 歴代会長のことば

足守地区 的場 時子

昨年暮れに、赤木さんから原稿の依頼がありました。私にとりましては、何で今頃と思います程、遠い昔のことなので、記憶も定かではなくなっております。

初めて愛育委員をお受けいたしましたのは、昭和42、3年ではなかったかと思えます。私もまだ若くて30代の頃でした。あの時代は愛育の行事もかなり多くて、その中には胸部レントゲン台帳作製の依頼の為に、町内の各戸をお訪ねして歩いたり、又、レントゲンの受診をお願いしたり等の仕事もありました。その時「こんな事はプライバシーに関する事ではないか。」と大変なお叱りを頂き驚きましたが、これも私の未熟さ故に、言葉も又今少しの心くばりが足りなくて、ご迷惑をおかけしたのかも知れないと、大いに反省したこともありました。薬剤配布、検便回収、その他のもいろいろありましたが、私が特に楽しかったのは、乳児健診のお手伝いでした。あの時抱っこした赤ちゃん達のムチムチの肌の感触は、部屋中に響く大きな泣き声と共に、今でも思い出すことがあります。

月日が過ち予測もなく、足守学区の会長の役が何故か私の所へ来てしまいました。私にとりましては、余りにも荷が重くて、心配ばかりの任期だったと思えます。私が途方に暮れている時に委員さん達に励ましていただき、暖かく助けてくださった事が、私にはとても大きな支えになりました。会長は只一期のみの短い間でしたが、当時委員の皆様から、数々の優しさを頂きました事は、今でも心から感謝致しております。本当に有難うございました。

末筆になりましたが、足守愛育委員会の今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

大井地区 故松田 明子会長のこと

初代会長を務められました。地域の人々の健康を守るため、ヘルスボランティアとして保健衛生の向上に尽力されました。当時は食糧不足で栄養状態が悪く、河原の畑で野菜を作られていたそうです。また、環境衛生の始まりの頃で寄生虫の消毒に協力されていました。(ご近所の方にお聞きし本田が記載)

大井地区 故乗金 貴志子会長のこと

助産婦でもあった乗金会長は地域の指導者として活躍されていました。愛育委員と一緒にお母さんたちを集めて、人工妊娠中絶をなくして母体保護を図るための家族計画の重要性を説いたり、赤ちゃんを母乳で育てるための勉強会をされたそうです。(ご近所の方にお聞きし本田が記載)

大井地区 岩月 和代

愛育とは、可愛がって大事に育てることだと思います。

委員とは、団体の中で選ばれて特定の事柄に当たる人だと思います。

お若いお母さんの育児、また一般の人の健康についても勉強しました。その中で健康優良児の親子さん達と、写真を写し、その子供さんが今は立派な社会人となり、立派な職務についていらっしゃるのを見て、幸福に感じています。

遠く過ぎし今、愛育をしてよかったと、思っています。

大井地区 田上 秀子

固辞し続けていた重責を引き受ける事となったのは、もう 20 数年前になります。記憶が少々薄れましたが、当時の主な仕事は、乳児健診のお手伝い、役員会、健診時の受け付けだったように思います。

11 月初旬には婦人科検診がありましたが、現在とは違い、受診する人が少なかったようです。呼びかけた当の私も、お産以来婦人科検診には足が遠のき、責任上受診したのを覚えています。結果は再検査、卵巣腫瘍が見つかり、手術と 50 日程の入院生活を経験しました。

それ以来、検診の重さを痛感し、毎年お世話になっています。

岩田地区 國定 町子

この度愛育委員協議会発足 55 年の記念誌をお作りになり真におめでとうございます。私こと、20 数年間、愛育委員の一員として活動に参加させていただきました。今もよき思い出として残っております。当時はすこやかな赤ちゃんの成長を願って母子保健、岡山市が行って下さる各種検診の連絡、受診のおすすめ、検診時のお手伝いなどを重点に活動を進めて来ました。やがて少子高齢化の時代がやって参りました。

高齢者の方へのご奉仕もと思い、老人ホームへお邪魔してお手伝いもさせていただきました。

昭和 35 年代に事務局（足守支所総務民生課）の方から環境衛生協議会も併せて担当してほしいとのお話があり、熟慮の結果、担当させていただく事にしました。殺そ剤、害虫駆除用の乳剤も配布致しましたがその当時は道路の周辺にジュースの空き缶が散乱し悩みの種でございました。委員みんなでポイ捨て防止の標語を考え、それを立札に書いて道沿いに立てました。乏しい予算で一本ずつ増えて行くのがたのしみでした。他の地区から足守の取組を見に来て下さった方もおられたとか聞いております。

この様に委員みんなが心を一つにして活動していくことができましたのも、先輩の方が残して下さった業績、地域の皆様のご理解、事務局の方、保健婦さんのご指導ご支援があってこそと思っております。厚くお礼を申し上げます。

昭和 50 年頃だったと思いますが、愛育委員会足守地区で厚生大臣賞をいただきました。その時の意見発表の原稿が出てきたので懐かしく読み返してみました。当時は

人口 9,023 人で 2,459 世帯。結核にかかったお年寄りがお孫さんの守をしていて、孫も感染してしまったことなどから、検診の大切さを事あるごとに P R して受診率を高めることが出来たことなどが書いてありました。

末筆になりましたが、愛育委員協議会の一層のご発展と委員皆様のご健康をお祈りして擱筆いたします。

岩田地区 笹井 富美恵

久し振りにペンを取らせていただきました。この度は愛育委員 55 周年を迎えられておめでとうございます。私も昭和の中頃から愛育委員を務めさせていただき、平成 14 年 3 月まで皆様方と楽しくお仕事をさせていただき、良い思い出となりました。ほんとうにありがとうございました。

これからも愛育委員会がますます発展せられます事をお祈り致しまして簡単では御座居ますが失礼致します。

日近地区 荒木 君代

この度は愛育委員会発足以来 55 周年を迎えられ誠にありがとうございます。発足当時昭和 33 年頃は、この辺りは吉備郡足守町でございました。

当時の黒瀬町長より委嘱状を頂き、日近地区 10 人が任務に就きました。愛育とは『可愛がって育てること』と辞書にもあります様に、主に乳幼児の方々の成長に力を注ぎました。また、環境衛生等にもそれぞれに尽くしました。当時は乳幼児の方々が多くいらっしゃったので、日近小学校をお借りして、毎月健診を行っていました。身長、体重測定をし、記録を残しました。又お医者様にも時々お願いし、保健婦様にはその都度心暖まる助言を頂き乍ら、委員としてのお役目に励んで参りました。そして解散の後、親睦をかねて、持ち寄りの材料によるお寿司、カレー等作り、賑やかに一日を過ごした事など記憶に残っています。振り返ってなつかしい思い出でございます。

赤木多喜子さんは要職におつきになられ、豊饒(かくしゃく)としていろいろな重い責務をこなして居られます事、そのお姿には敬仰申し上げます。委員の皆様にも大いに頑張ってくださいている事、有難く存じます。

この原稿を書き終えて、今昔の感ひとしおであることを深く感じました。

日近地区 赤木 初枝

昭和 26 年、まだ日近村だった頃、10 人で愛育委員会が発足し、私もその中の 1 人として参加いたしました。当時の仕事は、乳幼児健診と、保健婦さんのご指導の下、月 1 回行われる育児相談が主なものでした。

昭和 35 年には環境衛生協議会も愛育委員会の仕事として任されるようになり、仕事の内容も増してきました。

その後、足守町、岡山市と合併して活動範囲も広がりましたが、当時の岡山市の新生児の死亡率の低さは全国有数まで伸びたと記憶しております。当時は現在のような車社会ではなく、会合等への参加にも不便が多く、役所の担当者の方々にも種々お世話になりました。

約 28 年間の担当当時のことを思い返しますと、非常に懐かしさもありますが、私が引退してもう 30 年近くになり、記憶も次第に薄れて参りました。今は、愛育委員の皆様のご健康、ご活躍と委員会の益々のご発展をお祈りして、お慶びの言葉に代えさせていただきます。本当におめでとうございます。

日近地区 田中 綾子

昭和 44 年 4 月に愛育委員をお受けしました。育児相談や結核レントゲン検診など当時の記憶は定かではありません。長い間お世話をしてくださいました赤木初枝さんが昭和 55 年にお辞めになりました。中尾和子さんが引き継がれましたが、その年に病気で亡くなりました。その後を私が引き受けることになりました。

市役所での保健衛生大会や環境の方では勤労者福祉センターへ連れ立って駅前から歩いていきました。憩いの丘へおしめたたみの奉仕に始めて行った時、施設の中を案内してくださいました。私は昭和 63 年 3 月に退きました。思い返せば集団検診の時は皆さんにお会い出来るのが楽しみでした。今は健康手帳をお手元にそれぞれ受診されているようです。

地域の皆さんが健康で明るい生活が出来ますようお祈り致します。

日近地区 萱野 輝子

昭和 63 年から平成 9 年までお役をさせていただいたように思います。

振り返ってみて心に残っている地域活動は、平成の初期頃、住民検診の受診率を上げる為『声かけ運動』をとりいれ推進に努力したこと、母子クラブとの交流でクリスマス会に愛育委員扮装のサンタさんが登場してプレゼント等する楽しい集いに参加していた事等でしょうか。

5 地区合同の活動としては足守公民館を会場に『健康フェア』が盛大に開催され(平成 4 年 5 年頃)、様々な健康に関するコーナーを設け、特に『健康チェックコーナー』等は大好評で大いに地域住民の健康づくりのための啓蒙になったのではないかと思います。また、県立かしお園での地域高齢者とのふれあいを目的とした『かしおの集い』が毎月開催され、私達はお弁当作りのお手伝い、そして私達自身もいろいろな行事に参加して楽しませて頂いていたこと等、割合に活発に楽しく活動していたように思います。

ストレスの多い現代社会、愛育委員活動の必要性は増々求められるのではないのでしょうか。どうぞ“ほほえみ”と“いたわり合い”の心で地域の方達をやさしく見守って頂ければと思います。

日近地区 小西 慶子

この永い人生の中で、人それぞれに求めるものは違うと思いますが、私にとって愛育委員という役は、生きることの目的に添った楽しいことの一つでした。健康を維持するために学び、病気を予防するために努力する手段と方法を具体的に教えていただき、皆様にお伝えして一緒に頑張ることで一人では挫けそうになる心を支えてもらったり、訪問の時には「ありがとう」と言われて快いふれあいが出来て、ほんとうに充実感を持ったものでした。力不足を感じながらもさまざまな勉強をさせて貰ったことを感謝し少しでも誰かのお役に立てたと思えたことは、今も心の糧になっており幸せです。

福谷地区 荒木 寿子

足守地区に愛育の発足した昭和 26 年から会長をさせていただきました。乳児健診や育児相談が主な仕事でしたが、当時は子供が大変多くお世話をするのに若い人でないと務まりませんでした。生野松野さんは副会長として家族計画の指導をして下さっていました。おしっこをかけられながら健診の手伝いをしたものです。苔山の山頂近くに家があり、雨の中を出かけていき、おなかの具合が悪くなり困ったことも思い出します。健診には医師や手伝いの人の弁当も作っていました。役場から見学の旅行に連れて行ってくださるのも楽しみでした。また当時はピアノを 100 人くらいに教えていましたので、忙しい毎日でした。(自宅を訪問して話をお聞きし西山が記載)



福谷地区 光森 美野子

中山先生に旧福谷役場で乳児と 3 歳児健診をしてもらい、受付や計測の手伝いに出していました。愛育活動には様々な苦労もありましたが、今では懐かしい思い出です。(自宅を訪問して話をお聞きし西山が記載)

福谷地区 大角 フサコ

愛育の会長をさせていただきます、よく勉強をさせていただきました。長島愛生園への慰問と見学、知的障害児の施設や老人保健施設に行きました。施設の方はしんぼう強くお世話されており、感心しました。旧福谷役場で乳児健診と育児相談があり、交代で手伝いに出していました。また、健康優良児の表彰があり一緒にお祝いさせていただきました。

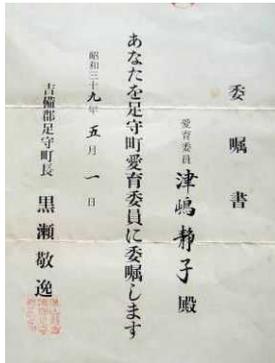


会合の時にはみんなで弁当を作ったこともあります。前会長の生野さんはお箸でご飯をなるめておられて衛生的で感心したものです。

愛育委員に岡嶋さんがおられ、障害を持たれた娘さんの将来を案じて、同じような子供さんのためにも施設を作りたいと土地を提供され、昭和 43 年にももその学園が開設されました。(自宅を訪問して話をお聞きし西山が記載)

福谷地区 津嶋 静子

育児相談はコミュニティーで行っていました。電話をかけたなり、呼びに行ったり、委員さんがよく手伝いに出てくださいました。また相談にも乗ってくれていました。子宮がんと乳がん検診は、吉備病院で部落ごとに受けていました。



昭和 33 年頃の赤痢の集団発生では、家の消毒について回りました。また、空き缶拾いにも出ていました。お菓子を片手にみんなで一緒に歩いたのも懐かしい思い出です。空き缶で袋がいっぱいになったら道ばたにおいて、主人に集めに来てもらっていました。岡山市長から環境の功労者としての表彰をしていただきました。

現在もご主人のお世話をしながら、とてもお元気に大正琴、木目込み人形、ちぎり絵などを楽しまれています。(自宅を訪問して話をお聞きし西山が記載)

福谷地区 氏川 多美子

私が委員を受け継いだ頃は、一人の委員さんが愛育と環境の両方を受け持っていました。愛育委員の仕事は育児相談、献血、胸部レントゲン、胃検診等の手伝いでした。

環境衛生では缶拾い、乳剤配布、殺そ剤配布等の手伝いでした。5地区一緒になって幹事会、かしお園での地域交流の手伝い、健康フェスタ、愛育だよりの発行等をしました。市に合併して、北エリアと成り、旧市内へと出かけて行くように成り、数多くの思い出を作らせていただき、ありがとうございました。

福谷地区 大月 安子

地区委員会に集まった方が、配布物を持ち帰って下さった。委員の皆さんが協力してくださってありがたかったです。ウジ殺しの乳剤を一斗缶でもらっていたので、小さな瓶に分配して各戸に配っていた。これは大変だった。支所の方にもたいへん良くしてもらった。会長をさせてもらって2年間いろいろな方と交流が出来たことは良い思い出になっています。(自宅を訪問して話をお聞きし西山が記載)

福谷地区 田口 伸子

健康教育、検診、子育て支援交流、研修会又環境衛生大会と様々な活動に参加し勉強させていただいた2年間でした。共に協力、活動して下さった地区委員の皆様、色々と助けていただき本当にありがとうございました。

## 各地区会長より

足守地区会長 赤木 多喜子

私は、昭和 32 年より足守町役場へ国保保健婦として奉職させて頂きました。以来、昭和 57 年まで愛育委員さんに大変お世話になりました。昭和 34 年頃から育児相談・乳幼児健診を実施する様になりました。また、母体保護のため、家族計画・人工妊娠中絶を無くす為に、小部落で委員さんのお宅や公会堂等で座談会を開く会場の準備等をして頂きました。手計りを持って、赤ちゃんのお宅を訪問して体重測定をして、台帳に記入して頂きました。

乳幼児健診で赤ちゃんコンクールを 10 年位続けたと思います。母乳栄養の呼びかけもこの頃でした。昭和 38 年頃には、心臓手術が必要な方がおられ、献血を呼びかけて生血を採らせて頂きました。以来毎年、献血を呼びかけて協力して頂いております。

昭和 57 年より、私も愛育委員の一人として仲間入りをさせて頂きましたが、公民館に勤務させて頂いていたので、なかなか自由には動けませんでした。昭和 59 年から副会長、昭和 61 年から会長を引受けて現在まで続けさせて頂いております。この間、思い出に残るのは、公民館全館での健康フェスティバルでした。歯医者さんまでご無理を云って協力して頂きました。憩いの丘へのおしめたたみ、かしお園への地域との交流会、お弁当作りのお手伝い、いろいろの行事に仲間入りさせて頂きました。

母子が主体の愛育活動も、時代と共に大きく変化して参りました。現在は『自分の健康は自分で守る』を目標にかかげて“健康市民岡山 21”の一委員としても頑張ってお参りたいと思います。

私も、振り返れば 50 年という長い間、皆様と共に、お世話になりながら過ごしてきました。本当に有難うございました。今後とも皆様方のご指導ご鞭撻をお願いいたしますと共に、今後益々のご発展と地域の皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

大井地区会長 本田 敏子

私は、昭和 39 年に会社を退職し、友人も近所との交流もない中、7 月に長男を出産しました。毎月育児相談に連れて行き、沢山の人と出会うことが出来ました。赤木保健師さんや愛育委員さん達の指導で病気もなく、昭和 40 年には健康優良児の表彰を受けました。それぞれの子供たちも大きくなった昭和 58 年に、愛育委員の打診があり、下の子供が小学生で子育ての勉強になればと引き受けました。何もかも分からなく力不足のために、ご迷惑をお掛けしたことも有り、地域の方に助けられました。

第 7 回岡山市健康づくりの集い(平成元年の保健衛生大会)には、会長さんが集まり衣装作り、踊りの稽古と当日まで大変でしたが、懐かしく楽しい思い出です。平成 3 年頃、会長会を足守近水公園が会場となり市内の会長さんを招待しました。お昼の

手作り弁当を作るため食料の買い出しに行き、良い品物を選び、また魚はかしお園にお願いして買って焼いてもらいました。川田市議さんや足守支所の職員さんまで来ていただき、当日になって天候が悪くなりテント張りまでお手伝いしていただきました。多くの参加者があり、故片山雅恵会長さん達も大変楽しみ喜んでお帰りになりました。

県立かしお園でのかしおの集い、高齢者との交流、お年寄りのファッションショーでは高島屋より衣装の提供があり（前日には衣装合わせ）それはそれはきれいな晴れ舞台でした。毎月のかしおのつどいには100人近い弁当を作り、手を赤くして握った愛情おにぎりを、お年寄りのみなさんも喜んで食べてくださいました。ふれあいの中から、お年寄りの寂しさを知り、また、教えられることも沢山ありました。毎月お会いするのが一番の楽しみでした。

先輩たちが礎を築き大切に培ってきた55年。苦労も多かった事と思います。愛育の心は時代が変わっても、地域の人と支え合い育ち合って、高齢になっても健康で生活できる住み良い町おこしに取り組んでいければと思っています。地域の一人として自らの健康について知識を深めながら子育て支援し、保・小・中学校と共に『愛の一声あいさつ運動』も行い、ふれあい運動の輪を広げています。必要な時には相手の身になって考え、他の団体とも交流し地域に合った活動をして行ければと思います。今後ともご指導をよろしくお願いします。

岩田地区会長 林 恒子

足守地域愛育委員会発足55周年を迎えることが出来まして心より有難く思います。私事ですが、元足守町長矢吹清忠様より昭和45年4月1日付にて委嘱状を受け取りました。それ以来未熟ながらもヘルスポランティア活動の一端として過ごしております。子供が幼少の頃、保健師さんや地域の愛育委員さんに大変お世話になり、有難く思ったことが今も心に焼き付いています。地域のために少しでも恩返しが出来ればと思う気持ちには変わりはありませんが、力不足でお役に立つことが出来ず心苦しく思います。

母と子の健康づくりから始まった愛育委員会も社会情勢の変遷に伴い大きく変化しており、現在は皆で支え合い連携をとり健康市民岡山21が目標に掲げられております。愛育委員もパイプ役として頑張りたいと思います。55年の長い歳月を築き上げて下さいました行政、諸先輩、関係各位の皆様方に敬意と感謝を申し上げます。

今後とも、ご指導、ご鞭撻をお願いすると共に、地域の皆様方のご健康を心よりお祈り申し上げます。

日近地区会長 荒木 典子

自宅から勤務先だけの往復で、地域のことを何も知らない私が、何か出来ることがあるのならと愛育委員をお受けしました。集団検診で地区の方に接し、一人でも多くの方が自分の健康に関心をもっていただけたらとの思いでいっぱいでした。私自身、月1回開催されている『近水ウォーク』に参加し、季節を感じながら足守の名所を探

索しています。心がゆたかになり、多くの人達との出会いもあり、毎回楽しみです。  
『健康で長生き』につながるネットワークづくりが出来たらと思っています。

福谷地区会長 西山 きよ子

今年で5年目。地域の健康ボランティアという気持ちで続けていますが、いろいろな方との出会いがあり、為になる話を聞かせてもらう機会が多く有難いと思っています。ずっと以前は箱に入れた検便も集めていた。また、「愛育委員になったために子宮がん検診を受けるよう誘ってもらい、子宮がんが発見されて治療を受け、75歳の現在も元気です。」という話を聞き、愛育の深い意味を改めて教えられました。

### 各地区委員より

足守地区副会長 難波 睦子

足守地区に愛育委員会が創立され、半世紀以上の歳月が過ぎ、その間、地域の皆様と共に歩んでこられた事は、誠に喜ばしい次第です。私の担当地区は初代会長の石原朝賀さん、3代目会長の林スミアさんと、立派な先輩方の出られた町内です。若い頃より様々な愛育の活動を、よく見てきています。

今でも、40年前に乳児健診でお世話になり長男が健康優良児に選ばれた事等々、走馬燈の如く脳裏に浮かんできます。

私は、赤木会長の下に、お手伝いをさせて戴いて居りますが、何も出来なくて恥ずかしく思っております。でも、赤木会長並びに33名の足守地区愛育委員の皆様のおかげで、どうにか今日という日を迎えることが出来ました。これからも皆様方のご指導ご協力をお願い致します。

元足守地区委員 埜真 民子

この会が、元岡山県知事の故三木行治氏の提唱により発足されたとお聞きしたことがあります。県民一人一人が、明るく元気で健康な家庭生活を送れるようにとの、愛育委員会活動に、私も昭和48年より参加させていただきました。何のお役にも立てなかったことを悔いています。

先輩役員の皆様にご助けいただきまして、平成16年3月まで努めさせて戴きましたが、その間には、岡山市愛育委員会より表彰状を、また、岡山県環境委員会より感謝状を戴いて身に余る光栄でした。これは、地区の皆様のご協力と、先輩諸氏のご援助のお陰だったと、今でも大変嬉しく思っております。

足守の愛育委員会の益々のご発展をお祈り申し上げまして、お祝いの詞にさせて戴きます。

足守地区委員 杭田 裕江

愛育・環境のお手伝いをさせて頂いて、20年が過ぎました。各種集団検診や回覧、受診のおすすめ等や環境でのゴミ問題等に声をかけさせて頂いたりしながら色々勉強させてもらいました。今後も出来るかぎり地域の皆様の健康のお役に立てればと思っております。

足守地区委員 難波 倫子

愛育・環境衛生協議会委員としてお世話をさせて頂いて、20年余りがたちました。集団検診や、環境では不法投棄など色々見て勉強させてもらいました。今後も地域の方々の健康増進に微力ながらお手伝いが出来ればと思っております。

足守地区委員 金谷 千代子

40数年前、子育てで右も左もわからない私を、乳児健診で、いろいろお世話になりました。そのお返しにと思い、愛育委員をさせて頂き20年が過ぎようとしています。これも皆様のご協力のお陰です。

足守地区委員 上村 恵美子

子育てが一段落した時愛育委員をして貰えないかと言われ、気が付くと10数年が経っていました。愛育の仕事を通して健康について教えていただくことが多く、それを地域の方々のお役に立てればと思っております。

元大井地区委員 高坂 愛子

愛育委員が出来早55年になりました。私の子育ても50年前近くになります。昔々の話です。「育児相談に行こう。」と声を掛け、暑い時も寒いときもおんぶしてバックにおしめを持って、大井の役場まで近所の人と歩いて通ったものです。その頃は赤木保健婦さんでした。いろいろと教えていただき、相談したりとても良かったです。1才になると、健康優良児なんかもありました。我が子は残念ながらなれませんでしたけど。

その頃は、祖父母、父母、私夫婦と子供で四世代の大家族でした。にぎやかで楽しかったです。それが今は核家族になり、少子化で近所隣老人ばかり。私宅にも大きな大きな赤ちゃん(98才)がいます。いつまで世話出来るかと思っております。

私はこれからも生きていく限り『可愛いおばあちゃん』でいたいと思っております。

元大井地区委員 伊丹 春子

アツという間に15年愛育を務めさせて頂きました。本当に有難うと心から御礼申し上げます。そして毎日草取りやら草刈りをしています。時々、耳の遠くなった主人と大声でけんかをしながら楽しく暮らしています。

本田会長さん、林さん、お二人一緒に皆様のお世話をして本当に有難うございます。よろしくネ。

元大井地区委員 柏野 洋子

昭和40年から愛育委員という重い役目をもらいました。私にできるか心配しながら、一年一年少しずつしているとだんだん一年間のすることがわかってきました。愛育委員の用事は、育児相談、3歳児健康診査、胸部レントゲンの手伝い、夏・冬に殺虫剤配布でした。子どもが多かったので、手伝いに出ることが多かったです。昭和42年に長女が3歳児健康優良児の表彰をもらいました。

年月が経つのは早いものです。いつの間にか20年がきていました。昭和60年に20周年の表彰をもらい、平成11年には愛育委員連合会長表彰をもらい、平成12年には35周年の市長表彰をもらいました。

愛育委員をしていたから、基本健康診査の話聞き、私も受診しなければと思い昭和52年から全部の検診をかかさず30年受けていました。受けていて良かったです。大腸がん検査で、ポリープが見つかり助かりました。検診はしなければなりません。皆さんも検診は欠かさず受けてください。

大井地区委員 守谷 稠子

現在は、少子、超高齢化が進む中での愛育委員の役割は、ずいぶん変化したと思います。

乳幼児健診と言えば、スタッフの方が多かったり、以前は胸部レントゲン検診と言えば2列に並び待ち時間もありませんでしたが、さて現在はどうか？

1カ所で出来る便利さ優先に、どんな形でもよい、一人でも多くの方々の検診と健康増進の向上を呼びかけたい。

年1回の、移動研修は家庭を離れての勉強会は、企業努力では只呆然と聞き入る自分の姿、出来る限り参加し自分を磨きたい。

岡山市愛育委員協議会結成40周年に表彰式に居合わせられた感動は、特別なものがございました、有難うございました。そして、今まで支えてくださった地域の方々、また地区愛育委員会長様に感謝し、結びの言葉と致します。

元岩田地区委員 藤原 作江

足守愛育委員結成55周年、誠におめでとうございます。愛育委員の皆様は、戦後の焦土の中から、育児相談、環境保全活動、集団検診と幅広く、我々の生活に手をさしのべて戴きまして、無事子育てが出来ましたこと、感謝しています。急速に進む少子高齢化に伴い、この岩田地区は公共事業も中央に行き、活動も困難になりますが、どうかこれからも、ご自身の健康に十分気をつけられて、地域の福祉向上のために、さらなるご尽力を賜りますことをお願い申し上げます。

岩田地区副会長 神原 京子

岩田地区の愛育委員 14 名は、由緒ある『愛育塔』の前に集いました。岩田子供園開設当時の愛育委員の方々の子供園に対する理解と思いやりのある活動は、大変熱心であったと伺っております。

私たち現在の愛育委員も、地域の皆様の健康の維持・増進に努めなければならないとの思いを強く致しました。

岩田地区委員 時信 昌子

足守地内の一角にて、ただ名前のみの一委員として、いつしか 19 年目になり、先般、岡山市から表彰を受け光栄でした。振り返ってみましても、何らお役に立てた思い出もなく、恥ずかしくなるようです。

創立以来の会長様や幹事の方々のご苦勞はもとより、愛育委員会は全員が委員であり、更に長期に亘る役職を勤められる方も多く、ボランティア精神で努力されている姿に改めて敬意を表します。足守地域も高齢化と少子化の中で愛育活動も本来の子育て支援をどう進めていったらよいのかが問われていると思います。友達や兄弟の少ない中で、自主的に正しい判断の出来る、たくましい子供に育ててほしいものと思います。

岩田地区委員 金安 稔子

少子・高齢化が進む中で、これからはますますお互いの思いやりの気持ちを大事にしていけたらよいと思います。

岩田地区委員 時光 由紀

岩田の自然豊かな山里を住み良いところにするよう活動しています。



## 足守地区愛育委員会のあゆみ

### 愛育委員会の発祥

昭和 8 年 12 月 23 日に今上天皇陛下がご誕生になりましたが、翌 9 年のお誕生祝宴の祭に、昭和天皇より、日本国の児童と母親に対する養護のための資金を下さいました。関係大臣の協議により『恩賜財団愛育会』を創立して、当時はほとんど顧みられない状態にあった母子の保健と福祉のための事業をすることになったのです。その事業の一つが、乳児死亡率を低下させるための村ぐるみで取り組もうとする愛育村の普及であり、愛育班活動の推進でした。

この会で、昭和 11 年から全国規模で愛育村の指定をして、活動をするようになりました。

岡山県では、かつて厚生省公衆衛生局長であった故三木知事の政策として「公衆衛生行政は、行政と住民が一体的に推進してはじめて成果があがるものだ」との信念から地域組織活動が全県下に広げられ、昭和 30 年に岡山県愛育委員連合会が誕生しました。

岡山市愛育委員会は、昭和 20 年代から現支所の地域をはじめとして、昭和 38 年 12 月までに 34 地区が発会し、活動を開始しました。そして、昭和 40 年 3 月には岡山市愛育委員研究協議会が結成され、34 地区委員会が一つにまとまりました。

昭和 45 年～46 年の周辺町村の合併により 61 地区となり、昭和 46 年に研究協議会は、協議会に改められました。その後、地区愛育委員会は、小学校の学校分離に伴い、平成元年 4 月には 70 地区となりました。平成 6 年 4 月、岡山市への保健所移管を機に組織の充実と強化を図るため、9 支所の 21 地区を独立させ、かつ、1 協議会 6 地域別愛育委員会連絡会(地区数 91)に体制の再編を行いました。

### 足守の愛育誕生

足守では昭和 26 年に愛育委員会が発足しました。当時の三木行治県知事が県下で愛育委員 5,500 人を委嘱したのです。当初は足守町、大井村、岩田村、日近村、福谷村でそれぞれ発足したのですが、5 か町村合併を契機に足守地区全体で協力して活動するようになりました。委員数は 65 名でしたが、環境委員を兼任する事になって、100 名に増員されました。

### 環境衛生協議会も担当するようになった経緯

昭和 32 年と 34 年に足守町で赤痢が集団発生しました。まだ食糧不足で栄養状態が悪く、衛生状態も悪かった頃です。地区内の家庭の消毒が急がれたのですが、当時は環境衛生協議会を男性がしており、昼間は不在がちのため消毒が思うように進みませんでした。その後、昭和 35 年に愛育委員を増員して環境衛生協議会も引き受けることになり今日に至っています。

昭和 26 年～昭和 30 年代

活動の変遷	昭和 26 年に足守地区（足守町、大井村、岩田村、日近村、福谷村）それぞれに愛育委員会が発足する。 昭和 34 年から育児相談、乳幼児の予防接種に協力する。 昭和 35 年から環境衛生協議会も併せて担当する。
社会的背景	昭和 25 年の岡山県では、乳幼児死亡率は 62.1%、妊産婦死亡率は 19.8%、と全国平均を大きく上回っていた。 昭和 31 年に 5 町村が合併し新制足守町が誕生した。 昭和 32 年と 34 年に赤痢が集団発生した。



S32 年 健康優良児表彰  
（各地区で選ばれて、  
足守町役場で表彰）

S32 年当時の委員  
（乳児健診の時に日近小学校で撮影）



S38 年 岩田子供の園のクリスマス会  
の料理を愛育で作りました。



福谷村愛育発足当時の写真  
(当時は若い委員が多かった  
ようです。)



### 長尾ミユキ先生

岩田地区に長尾ミユキ先生と言う立派な指導者がおられました。

幼児教育に力を注がれ文化的で健康な児童を念願し、母子の幸福を考えられて昭和26年9月に愛育活動として幼児の健康管理を目的に、女史自宅を開放し保育活動を開始されました。愛育委員、婦人会の皆様が、長尾先生を中心として、多年にわたり協力しました。

昭和 40 年～昭和 50 年代

<p>活動の変遷</p>	<p>昭和 46 年に岡山市への合併に伴い、岡山市愛育委員協議会に加入する。 母子保健中心から老人保健へも活動が広がる。 おやこクラブへの支援（歯みがきや栄養の講習など）を強化する。 憩いの丘創立に伴いボランティア（おしめたたみ）を開始する。</p>
<p>社会的背景</p>	<p>昭和 40 年に母子保健法が制定された。 昭和 58 年に老人保健法が施行された。</p>



S40 年代の乳児健診の様子  
（『町勢要覧あしもり '71 合併記念号』より）

S40 年度春季  
足守町 1 才児健康優良児表彰



S41 年 足守地区健康優良児表彰



憩いの丘でのおしめたたみ  
（写真は現在の様子）

憩いの丘の創立に伴い、おしめ  
たたみのボランティア活動を始め  
ました。

当時は大きな乾燥機から出した  
山のようなおしめをたたんでいま  
した。



献血推進活動（写真は S44 年の献血の様子）

足守町では、他の地域に先がけて、S38 年から献血が始まりました。  
今でも多くの方に協力して頂いています。



### 愛育塔について

岩田子供園 30 周年記念に当たり、昭和 58 年に愛育の塔が建設され  
ました。

愛育の塔は、これからの山村に愛育の灯を消すことなく愛育の光が  
輝き続くことを願って建設されたのでございます。

後輩の私達は、その意を心として受け継いでいきたいと思ひます。

岩田地区愛育委員一同

昭和 60 年 ~ 平成 10 年

<p>活動の変遷</p>	<p>成人病（現/生活習慣病）への取り組みを強化する。                  愛育訪問により老人保健法に基づく検診をすすめる。                  禁煙運動を推進する。                  エイズの正しい知識普及を図る。                  昭和 63 年からかしお園との交流が始まる。                  平成元年から『愛育だより』を発行する。</p>
<p>社会的背景</p>	<p>高齢化社会が進展するなかで、健康づくりへの関心が高まった。                  平成 6 年に岡山市へ保健所が移管された。</p>



H 元年 岡山市保健衛生大会  
 手作りの衣装と振り付けで県民体操をしました。



かしお園との交流会  
 (上) 受付風景  
 (右) 高島屋提供の衣装での  
 ファッションショー





(左・下) かしお園お花見会  
愛育委員会が感謝状をいただきました。  
(左下) かしお園玄関



H3 年 岡山市愛育会長研修会を近水公園吟風閣で行いました。  
かしお園にも協力して頂いて手作り弁当が並びました。



平成 11 年～現在

<p>活動の変遷</p>	<p>生活習慣病・がん等による死亡が増加しているうえ、結核が微増しているため、いっそうの検診受診を勧める。 精神障害者への理解と心の健康のための取り組みを始める。 第二すみれ保育園（子育て支援センター）との交流が始まる。 平成 14 年 9 月に北市民健康づくり足守会議が発足する。 近水ウォークとの合同ウォークが始まる。</p>
<p>社会的背景</p>	<p>平成 10 年に岡山市北保健センターが開設された。 平成 12 年に介護保険制度が始まった。 平成 15 年 1 月に健康市民おかやま 2 1 が策定された。 少子高齢化がますます進む。</p>



H16/17 年  
岩田の子供たち  
と七夕会

H18 年 岩田の子供たちと  
お花作り





(上・右・下)  
大井児童館  
手作りのうちわシアターで歯  
みがき指導



大井児童館全景

